

## 整備要員に対する研修のあり方

2012年1月31日

(社)日本自動車整備振興会連合会

### 1. 人材育成の現状

整備要員に対し、整備主任者の技術研修の他、地方整備振興会が主催する研修において、積極的に新技術の教育を行っている。

これらの研修においても、スキャンツールを使用した技術講習は行われているが、受講者の知識に差があることから、受講者のレベルに応じた任意の研修が必要という意見がある。

### 2. 実施方法・内容

昨年度の「汎用スキャンツール普及検討会」及び「汎用スキャンツール普及促進分科会」(事務局:日整連)のまとめを受け、スキャンツールを活用するための研修について、次の通り実施することとする。

#### (1)「基本研修」

- 汎用スキャンツールの操作・活用が一般的に行えるレベルを目指す。
- 研修内容は、スキャンツールの未経験者やスキャンツールの操作・活用方法がわからない方を想定したものとし、研修時間は概ね6時間とする。
- テキストについては、スキャンツール毎に機器の取り扱い方法が違うため全ての機器に対応できる研修用テキストの作成は難しい。
- 研修用テキストについて、受講者数の予測が立たないことから、自機工からスキャンツール毎に電子情報を提供して頂き、イントラネットから必要なテキストをダウンロードし使用する方法を採用することとしている。
- 第一段階として、平成24年1月末までに複数の機器の電子情報を提供して頂く予定である。
- 指導員研修会については、既に地方振興会において基礎的な研修を実施していることもあり、指導員は十分な知識、技能を有していることから、基本研修に関しては免除することとした。
- 研修開始時期は平成24年度とする。

#### (2)「応用研修」

- 汎用スキャンツール等を使用した高度な診断・整備技術の習得と基幹的な新技術に対応した技術習得を目指す。
- 応用研修は、原則「基本研修」修了者を対象とし、研修時間は概ね6時間とする。
- テキストの内容等、応用研修に関することについては平成24年度に検討し、平成25年度から研修を実施する予定である。

### 3. 今後の課題

- 応用研修における高度な診断・整備技術の具体的内容について検討が必要である。
- 使用するスキャンツールの仕様等について検討が必要である。
- 応用研修の指導員に対する研修の開催場所や、実施方法について検討する必要がある